

## 7 問題別応答分析と指導上の留意点

表右端の「%」は、各校の無作為に抽出された10%の生徒の正答率若しくは誤答率である。

### (3) 大問 [三] 国語基礎力の応答分析, 考察, 指導上の留意点

問一

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%
問一 (1)	正答	エ (おこたえ)	91	78	42	211	70.3
	誤答	オ (ご承知)	5	13	26	44	14.7
		ア (お申し込み)	2	5	12	19	6.3
		ウ (ご要望)	2	2	12	16	5.3
		イ (ご利用)		1	8	9	3.0
		(無答)			1		1

一文中の動作を表す言葉の中から、動作の主体が異なる言葉を選ぶ問題である。正答率は70.3%で、<a b - c型>を示している。キャンプ場の利用者の動作か、経営者の動作かを区別するだけであるが、c群では誤答のパターンも多岐にわたっており、「動作の主体」の意味が分からなかったのかも知れない。

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%
問一 (2)	正答	ア (お断りする)	99	91	79	269	89.7
	誤答	イ (お断りになる)	1	7	15	23	7.7
		オ (断ります)		2	3	5	1.7
		ウ (お断る)			3	3	1.0
		エ (断りなさる)					0.0

「断る」を適切な敬語(謙譲語)に直したものを選ぶ問題である。正答率は89.7%であり、高位の<a b c型>を示している。昨年度の敬語の文法用語を使った問題よりも、実際の敬語表現の中から選ぶ方が、感覚的に選べて易しかったようだ。

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%
問一 (3)	正答	イ・カ	84	76	58	218	72.7
	誤答	イ・カ・オ	9	12	18	39	13.0
		イ・カ・エ	3	2	9	14	4.7
		(その他)	4	10	15	29	9.6

案内文全体を見て、書かれていないものを選択肢からすべて選ぶ問題である。正答率は72.7%であり、<a b - c型>を示している。それぞれの選択肢をキーワードに、案内文全体を丁寧に読めば正答に至る。誤答のパターンとして、正答以外にオやエを加えてしまう生徒が多い。エを加えてしまったのは、情報が箇条書きとして独立しておらず、文章の中に含まれていることが原因であると考えられる。オは太字で目立つように書かれているが、項目が「用具」としか書かれていないため、「借りられる」かどうか迷った結果、解答に加えてしまったと推察できる。

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%
問一 (4)	正答	四月一日	90	76	52	218	72.7
	誤答	四月十八日	4	10	16	30	10.0
		四月十三日	1	5	14	20	6.7
		三月二十六日	2	1	2	5	1.7
		(その他)	3	8	15	26	8.7
		(無答)			1	1	0.3

文章の説明を読んで日付を計算し、申し込むことが可能となる日を答える問題である。公共施設などではこの案内文のような説明がされていることが多い。正答率は72.7%であり、<a b - c型>を示している。事後調査によれば大多数の生徒が、文章中から正解するために読まねばならない部分を指摘できているのだが、受付期間の開始日と終了日が連続して書かれていることが、誤答の原因となったようだ。誤答のほとんどは、「~の月の初日」の部分を見落としたものと、「5日前まで」の部分を誤読したものである。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問一 (5)	正答	ウ (御中)	43	31	18	92	30.7
	誤答	エ (様)	17	34	47	98	32.7
		イ (行)	32	21	19	72	24.0
		オ (各位)	6	9	14	29	9.7
		ア (殿)	2	5	2	9	3.0

はがきのあて名に付ける敬称を選ぶ問題である。正答率は30.7%であり、低位の<a - b - c型>を示している。b・c群では個人名に付ける「様」を選んだ誤答の方が正答よりも多かった。a群でもあらかじめあて名が書いてある場合によく目にする「行」を選んだ誤答がかなり多かった。「御中」という敬称が生徒にとってなじみのないものになっている。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問一 (6)	正答	ク (1 4 6)	64	43	20	127	42.3
	誤答	エ (2 4 6)	34	43	42	119	39.7
		ア (2 3 6)	1	3	17	21	7.0
		オ (1 3 6)	1	7	7	15	5.0
		(その他)		3	14	17	5.7
		(無答)		1		1	0.3

案内文全体を見て、利用期間と応募方法や関連する注意書きなどを読み取り、案内文の内容と合致する組合せとして正しいものを選ぶ問題である。正答率は42.3%であり、<a - b - c型>を示している。選択肢の1と2, 3と4, 5と6は対をなしており、それぞれの中でどちらが正しいかを吟味すれば正答に至る。事後調査の結果、1か2または3か4で、どちらが正しいか判断に迷ったと回答した生徒が多く、誤答例にも反映されている。選択肢2を正しいと判断した生徒は、案内文末尾の太字の【注意】の部分に注目してしまったと考えられる。

## 問二

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問二 (1)	正答	もよ(り)	96	95	71	262	87.3
	誤答	さいよ(り)	2	3	11	16	5.3
		もとよ(り)	1	1	6	8	2.7
		(その他)		1	7	8	2.7
		(無答)		1		5	6

「最寄(もよ)り」の読みを答える問題である。正答率87.3%であり、<a b - c型>を示している。「最」を単独で「も」と読むことはないが、設問が「最寄りの駅」という普段使用する言い回しのため、正答率の高さにつながった。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問二 (2)	正答	まぎ(れる)	100	97	78	275	91.7
	誤答	くず(れる)			7	7	2.3
		すぐ(れる)		2	4	6	2.0
		(その他)		1	11	12	4.0

「紛(まぎ)れる」の読みを答える問題である。正答率91.7%であり、高位の<a b - c型>を示している。設問は「気分が紛れる」という文であり、誤答はすべて気分という語につながるもの。前問も訓読みを答える設問であるが、c群は訓読みがやや苦手という傾向がある。

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%
問二 (3)	正答	きはく	92	55	29	176	58.7
	誤答	きうす	6	23	33	62	20.7
		きぼ	1	7	10	18	6.0
		きしょう		6	10	16	5.3
		(その他)	1	9	18	28	9.3

「希薄（きはく）」の読みを答える問題である。正答率58.7%であり、＜a－b－c型＞を示している。「希」は小学校4年生で習い、「薄」は中学校で習う。「希（き）」については誤答はないが、「薄（はく）」については訓を答えたもの、「簿」と間違えたものなどがあつた。「薄」を「はく」と読むよく使う語がないためだろう。

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%
問二 (4)	正答	奔放	25	13	5	43	14.3
	誤答	本放	19	11	6	36	12.0
		本法	2	2	9	13	4.3
		奔の字の書き間違い	26	16	5	47	15.6
		(その他)	18	18	21	57	19.0
		(無答)	10	40	54	104	34.7

「ほんぼう（奔放）」を漢字に改める問題である。正答率14.3%であり、非常に低位の＜a b c型＞を示している。「奔」は中学校で、「放」は小学校3年生で習う。誤答のほとんどが「奔」の字の書き間違い。「放」の間違ひは少なく、「法」「倣」としたものがある程度。「自由奔放」自体は意味も知っているが、「奔」の字は使う機会の極めて少ない漢字なのであろう、書き間違いが非常に多かった。正確に覚えさせたい。

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%
問二 (5)	正答	浴（びる）	95	84	69	248	82.7
	誤答	沿（びる）	3	7	7	17	5.6
		溶（びる）	1	3	9	13	4.3
		(その他)	1	2	7	10	3.3
		(無答)		4	8	12	4.0

「あ（浴）びる」を漢字に改める問題である。正答率82.7%であり、高位の＜a－b－c型＞を示している。「沿」「溶」も書き間違いであろう。設問が、「日光をあびる」という文であり、「日光浴」という語を連想しやすかつたのが正答率の高さにつながつた。

小問	正誤	解答例	a群	b群	c群	合計	%	平3
問二 (6)	正答	不可欠	64	47	24	135	45.0	26.3
	誤答	不可決	33	46	47	126	42.0	
		(その他)	3	5	13	21	7.0	
		(無答)		2	16	18	6.0	

「ふかけつ（不可欠）」を漢字に改める問題である。正答率45.0%であり、＜a－b－c型＞を示している。「不」「欠」は小学校4年生で、「可」は小学校5年生で習う。平成3年度の同様の設問では正答率26.3%であつたが、今回大幅に正答率が上がった。「欠かすことのできない」という意味だと理解すれば、正答に至るだろう。熟語は漢字それぞれの意味を考えさせながら、学習させたい。

### 問三

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問三 (1)	正答	悦	10			10	3.3
	誤答	気	30	18	11	59	19.7
		的	4	12	7	23	7.7
		手	7	6	8	21	7.0
		意	6	4	1	11	3.7
		(その他)	29	28	36	93	31.0
		(無答)	14	32	37	83	27.7

「悦(に入る)」を答える問題である。正答率3.3%で、極めて低位の<a b c型>を示している。慣用表現を意味から想起し、正しい漢字で書く問題である。「悦に入る」は日常で使用することがほとんどない語句であり、「～に入る」という続き具合から、「気に入る」「手に入る」という誤答をしたのだろう。誤答の大部分はこのパターンで、意味とは関係なく答えている。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問三 (2)	正答	空論	42	22	5	69	23.0
	誤答	空想	5	7	6	18	6.0
		理論	3	1	3	7	2.3
		空説	4	2	1	7	2.3
		想像	1	4	2	7	2.3
		(その他)	25	26	29	80	26.7
		(無答)	20	38	54	112	37.3

「(机上の)空論」を答える問題である。正答率23.0%で、低位の<a - b - c型>を示している。前問と同様、慣用表現を正しい漢字で書く問題である。どこかで耳にしたことのある表現なのだろう、正答に至らないまでも、「空〇」という誤答も目についた。また、反対にまるで知らないと思われる誤答もあり、「机上」という単語から、具体的な物(鉛筆など)を答えるパターンも目立った。日常語と離れれば離れるほど、全体の正答率は低くなるが、特にc群では顕著である。

小問	正誤	解 答 例	a 群	b 群	c 群	合計	%
問三 (3)	正答	背水	93	78	49	220	73.3
	誤答	排水	2	1	4	7	2.3
		(その他)	3	9	26	38	12.7
		(無答)	2	12	21	35	11.6

「背水(の陣)」を答える問題である。正答率73.3%で、<a b - c型>を示している。a群の正答率は高い。故事成語を正しい漢字で書く問題である。テレビのスポーツ番組などで、耳にする機会の多い表現なので、前2問より高い正答率である。誤答の中にも「水」を使った単語を答えたパターンが多い。事後調査でも、前2問に比べて、授業や読書などで接する機会の多さをうかがわせる回答があった。

<指導上の留意点>

実態及び問題点

情報を発信する側は、自分がその情報について知っている立場であるため、往々にして受け取る側の立場を忘れてしまいがちである。「伝え合う力」を育てるという観点から、相手や目的に応じて正確かつ簡潔に情報を伝える表現方法を身に付けさせる必要がある。

指導における改善の具体策

ここでは、問一「キャンプ場のご案内」を例に、案内文中の「キャンプ場では～」以下の部分について、どのように情報を整理すれば、より多くの人に正確に伝わるかを考えて、推敲させる指導例を示す。

手順1 情報を読み取らせ、項目別に整理させる。

①キャンプ場の利用期間 ②予約受付期間 ③利用料 ④貸出用具 …

手順2 それぞれの情報を、どのような順序で提示するかを考えさせる。

手順3 表現上の工夫をさせる。

簡条書きにする、具体例を添える、書体を変える …

手順4 改善案を作成させる。

【改善案の例】

キャンプ場の利用期間

- ・デーキャンプでの利用 … 年間を通じて可能
- ・宿泊キャンプでの利用 … 夏季（6月～9月）のみ可能

利用料金 大人：200円 子供：100円

貸出用具 飯ごう、鉄板、なべ  
(料金：1個／1回 100円)

予約受付期間

- ・受付開始日：利用日の3ヶ月前の月の初日  
(例：7月中の利用は、4月1日から受付)
- ・受付終了日：利用日の5日前

注意

- 当日、お申込みと異なる人数でご利用になる場合は、ご要望におこたえできない場合があります。
- 他の行事の都合でご利用をお断りする場合があります。



手順5 出来上がったものを発表させ、意見を出し合わせる。

分かりやすい点、分かりにくい点、不足している点（大人の定義、薪の有無など）…  
また、申込みハガキの書き方についても併せて指導できるとよい。